

どすこいかわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人てーねん・どすこい倶楽部

下町で紙芝居を

紙芝居師 ちっちさん



ちっちさん

紙芝居を見たことがありますか?と聞くと「あゝ! 子どもの頃、街角や公園などで飴をなめながら見てたね。」となつかしそうに答えます。紙芝居に魅せられて、この下町で紙芝居師として根を下ろそうと頑張っている「ちっち」さんに今回出演している、墨田区で行なわれている地域アートプロジェクト「墨東まちみせ2012」のお話を伺いました。

☆プロフィール
縁あって、キャリア40年

を誇る紙芝居師のヤッサンこと故安野侑志氏に単身弟子入りをして、東京・大阪・京都などで修行を重ねました。京都では清水寺の近くで道行く人たちに声をかけ街頭口演もしました。プロの紙芝居師となつてからは、東京都が公認する大塚パフォーマンスである「ヘブンアーティスト」としても活動しています。

☆紙芝居の魅力は?

街頭スタイルであることです。子どもも大人も世代を超えて楽しめ、演者と観客が掛け合いをしながら、双方向コミュニケーション(紙コミュニケーション)をとり、現代社会では薄れつつある一体感を、共有する場を作れることが魅力ですね。簡単ではありませんが、その紙芝居道を追究すべく色々な事に挑戦しています。

☆「墨東まちみせ2012」とは?

平成21年度から墨田区の墨東エリアで毎年開催されている地域アートプロジェクトです(今年は10月19日~11月25日まで開催)。ま

ちの課題をアートで共有することを目的に活動しています。今回は特別企画「墨東文庫・街頭紙芝居編」に参加させてもらい、ワークショップ形式で参加者の皆さんと作ったオリジナル紙芝居の口演を行なう予定です。いつもは「黄金バット」などなじみの作品を街頭口演していますが、今回は「墨東文庫」の名前のおとこ、

「まちのものがたり」を皆さんにお聞かせしたいと思っています。紙芝居は街頭育ちの大衆文化として、今でも大きな可能性を秘めています。携帯電話やパソコン、テレビゲームが普及した現代だからこそ、直接、人と人が繋がる必要があるのでは

☆今後の目標や夢は?

紙芝居は街頭育ちの大衆文化として、今でも大きな可能性を秘めています。携帯電話やパソコン、テレビゲームが普及した現代だからこそ、直接、人と人が繋がる必要があるのでは

〜取材を終えて〜
将来は定期的に活動できる場所を確保して、この下町に街頭紙芝居を復活させたいですね。

私たちも幼い頃胸躍らせて観た紙芝居。ちっちさんの「めざせ! 彩(いろ)んなココロが踊り出すのち輝く紙芝居」が街頭を賑わす日を期待したいと思います。



——むずむず脚症候群——

あかねは、電話を切ると空を見上げた。深い青色が広がっている。季節はもう秋。

今年の春に看護学校に入学してから半年があつという間に過ぎ去っていった。夏休みから医療現場に慣れるために、医療事務職にある親戚の久恵のついで、学校の合間に診療所の助手として働いている。先程まで電話で話していた伯母の話では、かかりつけの医師に相談したところ、「むずむず脚症候群」であると診断されたという。

あかねも、ちょうど疾病の講義で学んでいたので、資料が手元にある、理解が進んだ。

伯母の話では、しばらく前からじつとしていたり、夜になつたりすると、「足を動かしたい」「虫がはつている感じがする」「むずむずする」「ズキズキする」「かゆい」「ほてる」「電気が流れるよう」「むずがゆい」「焼けつくみたい」「ぴくぴくする」といった症状が続いていたそう。

はじめのうちは、何だろう? と思つて、あまり気にしていなかった。そのうち、それが理由で夜中

に何回も起きるようになり、十分な睡眠がとれず、日中に眠気が生じるので受診したのだという。診察前のセルフチェックの全部に当てはまった。この症状は、自分の意思とは関係なしに、股やひざ、足首などの関節が動いてしまうことが原因らしい。

医師が言うには、薬で治療をする前に、まず、コーヒー・紅茶・緑茶・ドリンク剤などのカフェイン

の接種やアルコールや喫煙の量を控えてみることや、鉄分(レバー・ほうれんそう・いわしなど)の摂取を増やし、バランスのとれた食事をこころがけること、また、規則正しい生活と、軽い運動やストレッチ、マッサージなどで筋肉をほぐしてみると効果がある、と言われたそう。

あかねは、とどまることなく日々変化を続ける心身だからこそ、自身の声に耳を傾け、向かいあつていきたい。そして、自分はそのよ

うな患者さんたちの力になつていきたいと思つた。

(註1) 診断前のセルフチェックは以下のとおり↓①脚の表面でなく、奥の方に気持ちの悪い感覚があり、動かしたくなりますか。

②眠ろうとする時や横になつたりじつとしていたりしている安静時に①の欲求が強くなりますか。③歩いたり脚を動かしたりすると①の感覚が減りますか。④①の欲求は日中よりも夕方から夜にかけて起りやすいですか。

<11月のスープ>

手軽にクッキング26

きのこたっぷり韓国風スープ (1人分 73kcal)

<材料 2人分>

しめじ	1パック
ねぎ	半本
チンゲン菜	1把
ごま油	小さじ1
だし汁	300cc
しょう油	小さじ2
酒	小さじ2
オイスターソース	少々
酢	小さじ2
水溶き片栗粉	適量
卵	半個
ごま油	少々



<作り方>

1. しめじは根を切り、ほぐしておく。
2. ねぎ・チンゲン菜は斜め薄切りにする。
3. 鍋にごま油をひき、1, 2の具材を入れ炒める。
4. だし汁を入れて煮たせ、調味料で味を調える。
5. 弱火にし、水溶き片栗粉を流し入れる。
6. とろみがついたら、とき卵を回し入れる。
7. 6にごま油を少々風味づけに加え、器に盛る。
8. お好みで七味唐がらしをふる。

* 深まる秋、酸味がほのかなスープで温まって下さい。

(協力: 食育支援部)

隅田川橋巡り

大横川 水馬

「坐骨神経痛というのはい、走るのが一番体に悪いんですよ」

三年前に医者には、「マラソンが趣味の還暦を過ぎた患者に向かい、平然とのもうた。それまで二十五年以上続けていたジョギングを止めた。幸い痺れと痛みは我慢できたので「汗をかくて飲もう」と誘われれば、月に一回程度おそろる走っている。

隅田川沿いのコースの場合、吾妻橋の左岸テラス（墨田区側）を昼過ぎにスタート。着替えて給水ボトルを背負い東京湾に向かう。

赤い吾妻橋、青い駒形橋、緑の厩橋、黄色い蔵前橋と続く。川を上り下りする水上バスに向かって手を振りながらのんびりと走るのだが、子供以外は手を振り返してくれない。

両国橋付近のテラスには相撲四十八手のデザインが柵に施され、堤防にはテラスギャラリーと称して絵が展示されている。両国橋をくぐって堤防に上り、

中央区側に渡って右岸テラスへと向かう。首都高六号向島線とくぐると浜町公園がある。そのテラスにはドッグランが設置され時々犬が遊んでいる。

新大橋、清洲橋、隅田川大橋と続き、首都高九号深川線をくぐると永代橋が見える。その向うには佃島の高層ビル群が林立している。一旦テラスから堤防に上り豊海橋で水路を渡る。テラスに降りて永代橋をくぐる。ワイヤーを張り巡らせた斜張橋、中央大橋の手前を堤防上へ。ビルの敷地内を通って南高橋を経て、佃大橋のたもとからテラスに下りる。今度は勝鬃橋を目前にして再び堤防に上る。

いろんな橋を見られたが、ここから先は築地の中央卸売市場、浜離宮庭園と続いたためテラスが無い。川から離れて晴海通りを新大橋通りへと向かう。市場と浜離宮の外周を走ると新交通ゆりかもめの軌道に出る。左手に劇団四季劇場を見ながら進めば竹芝桟橋に到着する。ここまでが約十キロ。

軌道沿いを走り続けるとレインボーブリッジに着く。南北どちらから風が吹いているかを確

認し、風上側のエレベーターで橋上に昇る。橋からの眺めは陸側海側双方共にすばらしいが、風下側の歩道は排気ガスに苦しめられる。橋を渡ればお台場海浜公園だ。竹芝桟橋からお台場までは約五キロ。

コンビニに駆け込みビールとつまみを買って飲むか、コインシャワーでまず汗を流すか、どちらでもいい。都会の日没を眺めながら砂浜で飲むのは格別だ。

寒い季節であれば公園に着く頃にはすでに日が傾いて、汗に濡れた体が冷える。あと二キロ、大江戸温泉まで足を延ばす。

汗を流した後はひたすら飲んで

で食べてだ。二人より三人、四人より五人。多ければ楽しい。健康診断の時、「最近どうも胸が痛いんです」と訴えようと、肋間神経痛のようだから病院で診てもらいなさいと勧められた。「この症状はね、呼吸をするのが一番体に悪いんですよ」と医者者に言われたらどうすればいいんだろう。行きたくない。



「シニア人材バンク登録者募集」

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。

パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動をしています。

皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか？

☆ 墨田区では毎月1日、15日に地域のイベント情報等をパソコンメールで希望者にお送りしています。ご希望の方は、お名前をメールでお知らせください。件名にメルマガ希望と記入してください。

tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp

平成24年度 第3回

セカンドステージセミナー

“まむし流”

元気で長生きするコツ、させるコツ

元気で100歳!!今年も墨田で粋に暮らそう!!

日 時：平成24年12月14日（金）午後2時から4時まで

内 容：第1部 講演 毒蝮三太夫さん

第2部 歌手 吉岡 リサさん

みんなで一緒に唄いましょう

会 場：すみだリバーサイドホール2階イベントホール（墨田区役所隣接）

参加費：無 料

対 象：どなたでもお気軽にお越しください

定 員：200名

申込み：NPO法人 て一ねん・どすこい倶楽部事務局へ

（電話）5631-2577（平日午前10時から午後4時）

主 催：墨田区

企画・運営：NPO法人 て一ねん・どすこい倶楽部

編集後記

秋から冬へ季節が変わっていきま
す。神社では七五三のお参りをする
可愛い子ども達を多く見かけます。
紅葉の便りも毎日のようにテレビ
に映し出されています。東京でも紅
葉の名所があります。今年は何処に
行こうかと思案中です。



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168

編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部
〒131-0044 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(平日午前10時～午後4時)

メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
<http://members2.jcom.home.ne.jp/tehnendosukoiclub/>